

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名	三喜工業株式会社
住所	千葉県千葉市中央区今井1-4-16
担当部門	管理課
電話番号	043-262-8100
FAX番号	043-263-2638
作成日	2009年04月20日

整理番号：

【製品名】

商品名 : PK-208・PK-209ダイヤシール
主な用途 : ダクトフランジ用ガスケット（シックハウス対策・ゼロアスベスト品）
製品の概要 : 本製品は基本材料・ロックウール混合物を被覆材・ポリエステル製不織布で包み込み簡易粘着材・アクリル系両面粘着テープで貼り付けたものです。

【物質の特定】

単一製品・混合物の区分：混合物

基本材料 : 混合物、ロックウール90%、ガラス5%、バインダー5%

被覆材 : 単一化学物質、ポリエステル、CAS番号 63562-48-1

簡易粘着材 : 混合物、ポリエチレンフォーム、アクリル系粘着材、ポリエチレン及びシリコーン皮膜上質紙

【危険有害性の分類】

基本材料

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

危険性 : 該当しない。

有害性 : 目、皮膚などに触れたとき刺激性を受けることがある。

粉塵を長時間にわたり多量に吸収したとき、呼吸器に影響を受けることがある。

環境影響 : 環境への影響の情報なし。

被覆材

分類の名称 : 消防法 指定可燃物

危険性 : 可燃性物質であり着火源があれば燃えるが、着火源を除けば自然消火する。

有害性 : 燃焼、熔融などの高温でアセトアルデヒドなどの有害性ガスが発生する可能性がある。

環境影響 : 環境への影響の情報なし。

簡易粘着材

分類の名称 : 該当しない。

危険性 : 該当しない。

有害性 : 該当しない。
環境影響 : 該当しない。

【応急措置】

目に入った場合 : 目をこすらずに異物感がなくなるまで清水で洗浄し、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着部を水又は微温湯で洗い流した後、石鹼水で洗浄する。
外観に変化がみられたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。
熔融物が付着した場合は直ちに大量の清浄水で冷やし、付着物は無理に剥がさず医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 粉塵を吸い込んだ時はうがいをし、鼻をかんで下さい。もし喉や鼻にかゆみや痛みがある場合は医師の診断を受ける。
燃焼、熔融で発生したガスを吸って気分が悪くなった場合は、直ちに空気の清浄な場所に移し医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 吐き出させ、異常がある場合は医師の診断を受ける。

【火災時の措置】

消火方法 : 基本材料は不燃性物質。被覆材、簡易粘着材は高温や不完全燃焼時に有害ガスを発生するため呼吸用保護具を着用する。風上より消火する

消火剤 : 水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス。

【露出時の措置】

必要に応じて、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋を着用する。
切断面より粉塵等の飛散が確認された場合は、掃除機等で清掃し産業廃棄物とし処理して下さい。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い : 切断作業をする場合は、切断面より粉塵の飛散する恐れがありますので、必要に応じて、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋及び長袖の作業着を着用する。
取扱い後は、手洗い及びうがいを励行する。

保管 : 製品及び粘着材の品質劣化防止のため直射日光、水漏れ、高温を避け常温常湿の室内に保管する。
被覆材は、難燃性ですが消防法指定可燃物にあたるため火気の無い場所に保管する。

【暴露防止及び保護措置】

管理濃度 : ロックウール 吸入性粉塵 2.9mg/m³ (鉱物性粉塵の遊離けい酸0%として)

許容濃度 : ロックウール 日本産業衛生学会 (2003) 1f/ml
ACGIH (2003) 1f/ml
(長さ5μm以上、直径3μm未満、アスペクト比(長さ/直径)3以上の繊維)

保護具 : 切断作業をする場合は、切断面より粉塵の飛散する恐れがありますので、必要に応じて

て、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋及び長袖の作業着を着用する。

【物理的及び化学的性質】

基本材料

物理的状態 : 固体、フェルト状
色 : 白色
嵩比重 : 0.20～0.25
溶解性 : 水に不溶

被覆材

物理的状態 : 固体、布状
色 : 白色
融点 : 255℃～260℃
分解温度 : 480℃以上
引火点 : 346℃～399℃
発火点 : 480℃以上
密度 : 1.35～1.40 g/cm³ (23℃)
溶解性 : 水に不溶

簡易粘着材

物理的状態 : 片面剥離紙付帯状
可燃性 : あり
溶解性 : 水に不溶

【安定性及び反応性】

基本材料

安定、アルカリには比較的強いが酸に弱く、若干反応して水素ガスを発生する。

被覆材

安定、燃焼時アセトアルデヒド、一酸化炭素などの有害ガスを発生する。

簡易粘着材

該当しない。

【有害性情報】

基本材料

急性作用 : 目に入った場合、物理的な刺激作用がある。
皮膚に付着した場合、かゆみや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性の障害を生ずることは無い。

慢性作用 : 発生する粉塵中に吸入性繊維が含まれるので、長期間にわたり多量に吸入すると呼吸器系障害を生じるおそれが考えられる。しかし、現在において、ロックウールの取扱いにおいて、これに起因した障害が発生したことは報告されていない。

発がん性 : ロックウールはグラスウールと共に IARC (国際がん研究機関) では、区分 3 (ヒトに対する発がん性について分類されない) に該当する。

被覆材

製品としてデータなし。

簡易粘着材

製品としてデータなし。

【環境影響情報】

基本材料

製品として環境影響のデータなし。

被覆材

環境中に長期間残留するが、直接環境に影響する可能性は小さい。

簡易粘着材

環境中に長期間残留するが、直接環境に影響する可能性は小さい。

【廃棄上の注意】

廃棄する場合は、周辺環境中に切断面から粉塵が飛散しないように注意する。廃棄物は、通常の産業廃棄物として処理業者により処理をする。

【輸送上の注意】

危険性はないが、包装が破損しないように気を付けると共に、水漏れや荷崩れしないように注意する。

【適用法令】

粉塵障害防止規則

塵肺法

労働安全衛生法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

消防法指定可燃物

【その他注意事項】

記載内容は現時点の資料、情報、データ等に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂される事があります。したがって危険、有害性の評価はすべての資料を網羅したわけではありません。また注意事項は通常の手配を対象としたものであり、特殊な手配の場合は用途、用法に応じた安全施策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって保証値ではありません。